

取扱説明書

DAYTONA

- *ご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
- *この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
- *この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

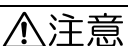
S 19861 ①/④

ノーラン NOIAN ヘルメット N100-5/PLUS	サイズ	商品NO.
	M (57cm - 58cm) L (59cm - 60cm) XL (61cm - 62cm)	N100-5/PLUS

■ご用前に必ずご確認ください■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
- ※ 本品及び本書に記載された商品は予告無く価格、仕様等変更する場合があります。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。
	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告

	・ 想定した安全性能を発揮できない状態になる可能性があるため、ヘルメットの分解や塗装など改造をしないでください。万が一それにより不具合が生じた場合、当社では一切の責任を負いませんのでご了承ください。 ・ 転倒や落下などにより1度でも衝撃を受けたヘルメットは外観上の異常が無い場合でも使用しないでください。本来の衝撃吸収能力を発揮せず、重大な事故につながる恐れがあります。 ・ 夜間やトンネル走行時はインナーバイザーを使用しないでください。十分な視界が確保出来ず、事故につながる恐れがあります。また、暗い場所でインナーバイザーを使用されますと、視力の低下につながる恐れがあります。 ・ ヘルメットの汚れは薄めた中性洗剤で拭き取ってください。ヘルメットの手入れに不適当な洗剤、消毒剤、溶剤系のクリーナーなどを使用しないでください。ヘルメットの衝撃吸収材が傷んでしまい、本来の衝撃吸収性能が発揮できない状態になる可能性があります。 ・ 自動車の車内など、高温となる場所に長時間放置しないでください。衝撃吸収材が変質して、本来の衝撃吸収性能を発揮しない場合があります。
	・ 安全かつ快適な走行環境を確保するためにも、ヘルメットは必ず頭のサイズに合った物をお選びください。特に大きすぎるヘルメットは、転倒の際に脱落などの危険もあり、大変危険です。 ・ 万が一転倒した際に怪我をする恐れがあり、大変危険ですので、走行前に内装やシールドが正しく固定されていることを確認し、ヘルメットが脱落しない様、あご紐をしっかり締めて正しく着用の上走行してください。
	・ ヘルメットは経年劣化の劣化等により、新品と同じ性能を発揮できない状態になる場合があります。そのため製品安全協会のSGマークには、耐久性を考慮して《購入後3年間》※の有効期限を定めています。有効期限の過ぎたヘルメットは保護性能を発揮せず、重大な事故につながる恐れがあります。たとえ正常な使用方法であったとしても補償の対象外となります。 ※商品の保証期間ではありません。

⚠注意

	・ オートバイレースやサーカスなどの、特殊なご使用方法をされている場合はSGマーク補償制度の対応外となりますのでご注意ください。 ・ カビや悪臭が発生する可能性がありますので、雨や汗などで濡れた場合や湿った場所などでの放置はしないでください。
	・ ツヤ消し色の部分はコンパウンド入りのクリーナーなどで拭くと風合いが失われる可能性があるためご注意ください。
	・ 内装のホックを外す時はホックの近くを持ち丁寧に行ってください。

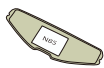
本商品の特徴

- ・アゴ部分を上げられる、フリップアップヘルメット。
- ・マイクロロックを採用しワンタッチでバックルの取り外しができます。*ヘルメットホルダーには対応していません。
- ・内装は外して洗濯可能。

※〈N-COM〉について

ヨーロッパを中心に各国に販売されているモデルは、オプション品の N-COM（インターコム）が装着可能になっておりますが、SG 規格適合品の弊社取り扱いモデルについては、N-COM が装着できない仕様となっております。ご了承ください。

商品内容

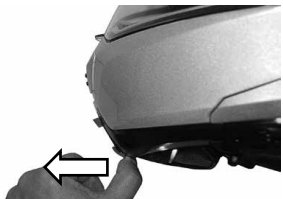
NO	パーツ名		数量	NO	パーツ名		数量
①	ヘルメット本体		1	②	保護袋		1
③	ピンロック（PINLOCK®） クリア		1	④	取扱説明書		1

※補修部品及びオプション品は、カタログ価格又は WEB サイトをご参照ください。

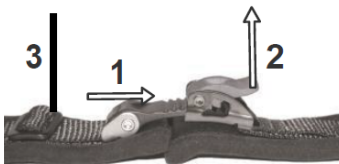
取扱方法

＜デュアルアクション＞※ヘルメット装着時は、アゴ部分を上げた状態で行うことをお勧めします。

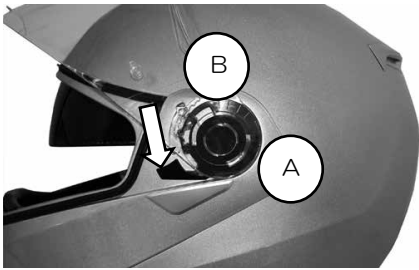
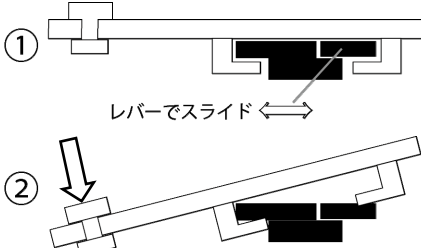
・安全確保のため、転倒時にアゴ部分が開いてしまわない様に、二つのアクションでロックが解除されるシステムになっております。

 1.親指で、真ん中の下の赤いレバーを手前に引き出します。	 2. 下のレバーを引き出すと、上の赤いレバーが飛び出てきますので、人差し指でつまむように上側レバーを押し下げます。	 3. 二本の指でつまみながら、アゴ部分をカチッと止まる部分まで押し上げます。 ＜フリップアップのロック＞ 左サイドのスイッチをJ側にスライドする事で、アゴ部分を上げた状態でロックする事が可能です。
---	--	---

＜ヘルメットの装着＞

 1.左右のあご紐をそれぞれしっかり持ち、少し広げる様にして装着します。	 2.あご紐はラチェット式です。1 を矢印方向に差し込みます 2 のレバーを矢印方向に上げると取り外せます。	 3.あご紐の長さが調整できます。
--	--	---

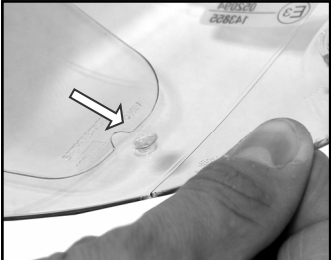
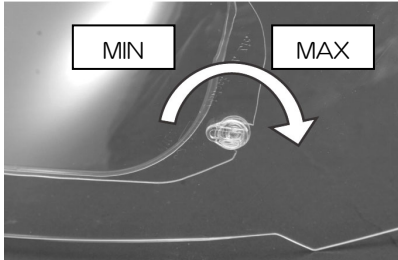
＜シールドの脱着＞

	＜シールド断面図＞  ① レバーでスライド ②	
＜取り外し＞ 1.シールドを全開の位置にし、ピンロックピン付近を押しながら、レバーを押し下げます。	2. シールド側のツメ（下側 A）のロックがレバーでスライドするメカニズムの上に乗り上げたら、レバーを戻します。	3.レバーの根本付近の、浮き上がったシールドのすき間に指を入れて、シールドを手前上方向に引き上げて取り外します。
＜取り付け＞ 1.シールドを全開の位置に合わせて、上側のツメBをメカニズムに差し込みます。	2. 下側のツメA付近を、上から押しこむと、シールドがロックされます。※押すことでレバーは自動的にスライドします。	

＜ピンロックシートの取り付け＞

ピンロックシートは中空にする事で曇りを防止するシートです。

ピンロックシートには表面に黄色い保護シールが貼り付けられています。(この面がヘルメット内側)。使用時には剥がしてください。

		
1. ピンロックシートの外周にシリコンの凸部が付いている面をシールド側の向きにします。ピンロックシートの切り欠き部分を、シールド内側のピンに差し込みます。	2. シールドを平らに広げ、ピンロックシートをもう一方のピンに掛けます。 上下の位置を合わせピンロックシールド全周の凸部分がシールド面に密着するように調整します。隙間ができる場合は、シールド外側のピンを回転させて調整します。	3. コインなどを使用して、ピンを矢印(白)側に回転させる事で、ピンロックシートのテンションが強くなります。シートにガタつきが出る場合は調整してください。

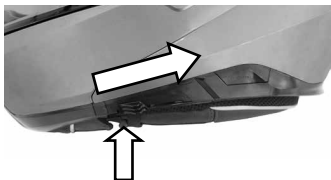
※ピンロックシートの調整をしてもシートがガタついてしまう場合は、シートの寿命です。消耗品ですので交換してください。

※ピンロックシールドは、キズが付きやすいため、シールド面を直接布で擦ったりしないでください。

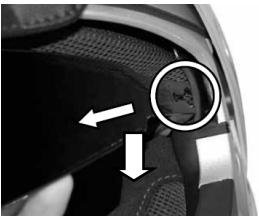
※使用により親水した面に汚れが付着しピンロックシールド面が白く濁る場合があります。

※汚れた場合は直接布等で拭かず、水を流しながら軽く拭き取る事で汚れを取る事が出来ます。

＜インナーバイザーの操作＞

	①ヘルメット左側面の操作レバーで操作します。操作レバーを矢印方向に動かすとインナーバイザーが下がります。 ②下部矢印のボタンを押すとワンタッチでインナーバイザーが上がります。 ※夜間やトンネル走行時はインナーバイザーを使用しないでください。十分な視界が確保出来ず、事故につながる恐れがあります。 ※インナーバイザー自体を直接押し上げる等の開閉操作行わないでください。開閉機構が破損する場合があります。
--	--

＜インナーバイザーの取り外し方＞

	1. シールドを全開まで上げた状態でインナーバイザーを下げます。 2. インナーバイザーを軽く引き下げ、矢印方向に引き抜きます。 ※取り付けはインナーバイザー位置をさげた状態(レバーを上げきった状態)でバイザーを差し込みます。
---	--

＜エアベンチレーションの操作＞

走行風を取り込みます。ヘルメット後方のアウトテークから排出します。

	1. 口元のエアベンチレーションは下方向に下げると開放します。		2. トップ部分のエアベンチレーションは矢印部分を操作してください。
---	--	--	---

※雨天の場合は閉じた状態でご使用ください。後方のアウトテークは開放型です。

＜ウインドプロテクターの取り外し＞

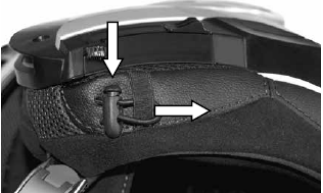
ウインドプロテクターは、下面からの走行風の巻き込みを軽減します。

	1. ウインドプロテクターがヘルメットのフチ部分と内装の間に挿入されていますので爪部分(4ヶ所)を外します。 ※ヘルメットを持つ際に、アゴ部分をつかむとウインドプロテクターが外れる事がありますのでご注意ください。
---	--

＜内装の取り外し＞

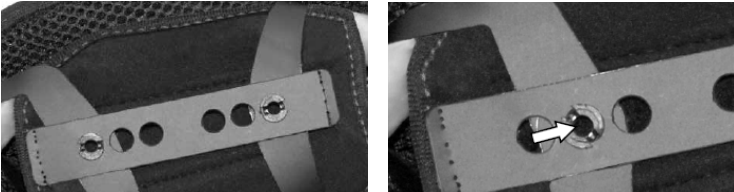
		
1.あご紐をゴムループから抜きます。	2.チークパッドを取り外します。(ホック3か所)	3.ロールネックを取り外します。(ホック2か所ツメ4か所)
		
4.内装の後ろ側を取り外します。(ツメ2か所)	5.内装の前側を取り外します。(ツメ3か所)	

＜ネックロールの調整＞

	ネックロールは、アジャスター部分でゴムを引くことで、調整が可能です。 ゴムを引くと、内側（上側）ネック部が狭くなり、風の巻き込みを低減します。
--	--

＜LPCライナーポジショニングコントロール＞

内装の調整で、被り深さの調節が可能です。N100-5PLUS のみの機能です。

	内装の頭頂部裏側に、位置調整用のボタンがあります。 ボタンの位置を変更することで、被りの深さ（高さ方向）の調整が可能です。
---	--

■SG マーク被害者救済制度

SG マークは、製品安全協会が定める SG 基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SG マーク付きヘルメットの欠陥により人身事故が発生したときは賠償措置が講じられます。ただし、プロオートバイレースやサーカス等の特殊な使い方をしている場合や、シールド等の付属品の欠陥による事故の場合の負傷等は、賠償の対象になりません。また、SG マークには、ヘルメットの耐久性等を考慮して、「購入後 3 年間」との有効期間を定めています。3 年以内であっても、一度でも衝撃を受けたヘルメットや、改造されたヘルメットは外観に異常が無くても性能が低下していますので絶対に使用しないでください。

・SG 制度に関するお問い合わせ

一般財団法人製品安全協会

TEL 03-5808-3300 〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F Email: mail@sg-mark.org

・SG マーク製品による事故の場合 消費生活製品PLセンター TEL 0120-11-5457

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <https://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

製造元：Nolangroup S.p.A. (イタリア)